

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	現在、コロナ禍に伴う制限を実施しており、十分な交流は実施出来ていない。	利用者、地域住民が、共に互いの存在を把握し、地域住民と繋がりを持った生活が出来る。	地区の行事等に積極的に参加し、自施設の説明をする事、地区の回覧等の活用、運営推進会議などを通し、自施設や利用者を認知して貰うと共に、利用者と地域住民とが関わる場を設ける。	12ヶ月
2	24	入所時の聞き取りだけでは、生活歴の把握が不十分な時がある。	ご家族との信頼関係を構築しながら、本人の性格や、生活歴の把握が出来る。	毎月の近況報告や面会時等、ご家族と関わる時間を大切にし、都度、利用者の性格や生活歴を聞き取る。また、現在の状況を正確に伝える事で、ご家族の思いを聞き取り、本人の以前の状況や、ご家族から見た性格等を把握していく。	12ヶ月
3	50	現在、コロナ禍に伴う制限を実施しており、買い物支援が実施出来ていない。	買い物支援の再開で、金銭の授受や、計算、店員とのやりとりを実施する事で、地域資源を活用する。	コロナ禍の状況を慎重に検討しながら、少人数、短時間での買い物支援を再開し、目標達成を目指す。	12ヶ月
4	53	どうしても、居場が限定されたり、利用者同士の共有が困難な時がある。	日常で過ごすスペースをより細分化し、利用者自らの意思で生活を決定出来る。	交流ホール・和室の利用方法を再度検討したり、廊下や、施設敷地内にも、日常で過ごすスペースを設ける。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。